第３学年　道徳授業案

１　主題名　　　家族の支えがあるから…　Ｃ（１４）　家族愛・家庭生活の充実

　資料名　　　「背筋をのばして」　　出典　新しい道徳３

２　本時の授業

（１）ねらい

どんな決断をしても、その結果うまくいってもいかなくても、どんな状況になったとしても、自分には支えてくれる人が近くにいるということに気づき、家族への思いを深める。

（２）本時の流れ

|  |  |
| --- | --- |
| 時間 | 学習の流れ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　手立て・支援 |
| 5分  10分  10分  10分  10分  5分 | ※家族とはどういうものなのかを考えさせながら教材を読み聞かせる。  家族ってどんなものですか。  ・一緒の時間が長い。  ・支えてくれる。  ・一緒に生活している。  ・血がつながっている。  ※千里と父の思いを視覚的につかませるために対比させて板書をする。  仕事を手伝う千里の思いと、その姿を見た父の思いを考えよう。  ・手伝ってくれてうれしい。  ・お店を継いでくれる。  ・手伝うことが当たり前。  ・千里への期待。  ・父は憧れ、大好き。  ・将来の夢は「私もクリーニング屋になりたい」。  →デザイナーになる夢  ※「なぜ言えないの。」「あなただったら言えますか。」などと問い返し、自分事としてより深く考えさせる。  なぜ夢を言うことができなかったのだろう。  **・父の思い、期待を裏切る。**  **・寂しい思いをさせる。**  **・認めてもらいたいけど…。**  ・店を継いでくれたらなあ。  ・好きなことを見つけてうれしいのだけど。  ※父の思いに触れるために、「好きにしなさい。」と言うに至った心境を考えさせる。  アイロンをかける姿から何を感じるだろう。  **・千里、がんばれ。**  **・自分の道を進んでいけ。**  **・応援しているぞ。**  ・父は応援してくれている。  ・期待に応えたい。  ・前を向いてがんばろう。  ※保護者に問うことで、同じような場面になった際に自分自身に対して家族がもつ思いに気づかせる。  ※夢が実現しなかったケースを想像させ、夢の実現だけがすべてではないことを気づかせる。  これから千里はどのような生き方をしていくだろう。  ・父の期待に応えようと自分の夢の実現に向けて進んでいく。  ・父の姿のように真面目に努力をしていく。  夢を実現できなかったとき、どんな言葉をかけますか。（保護者への発問）  **・たとえ夢が叶わなくても、何事にも努力してがんばればよいのだ。**  **・今なにかを一生懸命がんばっていることが何よりも恩返しだよ。**  **・いつでも帰ってくればよいのだよ。**  ※保護者の思いを直接聞くことで、家族の支えとは信頼関係や深い絆で繋がっていることだと気づかせる。  あなたにとって家族とはどんな存在ですか。  ・見えないところで自分のことを信頼して応援してくれている。  ・家族はとても大きな心で自分のことを見つめてくれている。 |